

『先輩と語る会』 報告と生徒感想

日 時：平成26年10月4日（土）

9：00～10：00 シンポジウム

10：30～11：00 前半「第一分科会」

11：05～11：35 後半「第二分科会」

参加者：2年生生徒

内 容：シンポジウム、分科会

本校では2年生に対して、3年前から「先輩と語る会」を大学に進学した本校の卒業生と語り合うことを通して大学の現状について理解を深め大学に進学する意義を見直し、自己の進路希望について検証することを目的に実施しています。本年度は卒業生29名に来校していただきました。シンポジウムでは、1年生も交え入試、大学生生活、就職活動についてそれぞれ話をさせていただきました。留学体験を語ってくださった先輩もいっしょに、生徒には良い刺激になったと思います。その後は以下のような分野ごとにわかれ、分科会を行いました。前半、後半に分け2つの分野で先輩と語り合うことができましたようにしました。

分科会の分野一覧↓

1	文学	7	理学
2	外国語	8	工学
3	心理	9	医療・薬学
4	教育	10	看護・養教
5	法・経・社	11	農学・生物
6	体育・スポーツ	12	情報

シンポジウムの様子



分科会の様子



生徒のアンケート結果です。

2年生10/4実施“先輩と語る会”事後アンケート結果(報告)

質問① シンポジウムの「入試の体験談」は、進路を考える上で参考になりましたか？

	とても参考に なった	参考になった ことがあった	どちらとも いえない	あまり参考に ならなかった	全く参考に ならなかった	計
人数	111	106	7	1	1	226
割合	49.1%	46.9%	3.1%	0.4%	0.4%	100.0%

質問② シンポジウムの「大学生活について」は、進路を考える上で参考になりましたか？

	とても参考に なった	参考になった ことがあった	どちらとも いえない	あまり参考に ならなかった	全く参考に ならなかった	計
人数	103	108	15	0	0	226
割合	45.6%	47.8%	6.6%	0.0%	0.0%	100.0%

質問③ シンポジウムの「就活について」は、進路を考える上で参考になりましたか？

	とても参考に なった	参考になった ことがあった	どちらとも いえない	あまり参考に ならなかった	全く参考に ならなかった	計
人数	97	105	17	6	1	226
割合	42.9%	46.5%	7.5%	2.7%	0.4%	100.0%

質問④ 分科会は、進路を考える上で参考になりましたか？

	とても参考に なった	参考になった ことがあった	どちらとも いえない	あまり参考に ならなかった	全く参考に ならなかった	計
人数	155	62	8	1	0	226
割合	68.6%	27.4%	3.5%	0.4%	0.0%	100.0%

* 2年生238名中226名参加

生徒の感想（抜粋）

【シンポジウム】

- ・大学受験だけでなく、大学での生活、その後の就職の話が聞け、いままでぼんやりしていた「大学」というものが少しははっきりしてきたかなと思うことができて、良い時間にできた。
- ・グローバル社会と言われていますが、考え方をもっと広くしておくことの重要性がわかりました。また就職をしてからやりがいや生きがいを持って働いていくことの大事さというものも教えられました。
- ・入試についてはセンター、面接で落ち着くということと、それに向けての勉強も大事だし、下調べ、大学の授業を知ることが必要だとわかった。

【講座番号 1 文学】

- ・文学部は分野が広いので、自分次第で様々な路線変更が可能だということがわかりました。でも、就職においては、他の学部よりも厳しいとわかりました。
- ・方言のことについて勉強することができるというのを聞いて、より興味がわきました。文学はセンター試験で8割得点しておくというのことがわかりましたが、センターだけではいけないこともわかりました。就職はコミュニケーション能力が大切というので、たくさん人と話すことを心掛けたいと思いました。公務員が手堅いということが感じられました。

【講座番号 2 外国語】

- ・英米科は語学を学ぶと思っていたけど、英語を通じて文化を学ぶということがわかりました。学校によって制度が全然違うので、しっかりと調べていかないとと思いました。また、自分に合った勉強法を探すためにいろいろ試してみたいと思いました。
- ・外国語学部はただ文法などを習うだけではなくて文化なども学ぶ。留学はお金がかかる。…半年で200万越え。成績が良いほど留学のお金を大学から出してもらえるところも。

【講座番号 3 心理】

- ・心理学は決して人の心を読むものではなく、アンケート等で得た情報を統計的に考えてつなげていくものだと知りました。就職も大変で大学に入るのも倍率が高く、難しいということがわかりました。でも、人の支えになり、頼れる存在になれるものだとわかりました。
- ・心理学は心理学でも、教育心理学や臨床心理学、社会心理学など、様々あることを知りました。

【講座番号 4 教育】

- ・凄く納得した話は「授業力」が必要という話です。いくら親切にしてくれる先生も、分かりやすい先生の方が信頼されるという話で、先生になるには、やはり教育学部に入るべきだなと感じました。
- ・教育学部で大変なことは、社会のことを知らずに社会に出てしまうことだとわかりました。教育実習では、その授業の流れなどを細かいところまで全部書かないといけなくて、睡眠時間がほとんど無い日もあったりすると聞き、大変だと思いました。

【講座番号 5 法・経済・社会】

- ・経済学部は文系科目が必要なのは当たり前だけど、数学が必要になってくる。英語はどの学科に進んでも必要なもので、今のうちからしっかりやっておきます。いい大学に入れば、いい職業に就けるといのは本当だ。
- ・法・経済・社会学部については、受験であったり、自分の気になっていた公務員の資格を取る上でどのように対策すればいいかなど、知りたいことについて、詳しく聞けました。これからも調べて参考にしたいと、強く思いました。

【講座番号6 体育・スポーツ】

・スポーツ・健康を選んだからといって、必ずその道に行くということではなくて、幅広く職業を選べるのはよいかと思いました。運動・スポーツがいろんな日常のことにつながっていて、まさか経済が運動・スポーツとつながりがあるとは思わなかったです。

・健康スポーツ科はスポーツを単にやるのかとおもっていたけれど、一年の時に国語をやるときいて驚きました。また、社会的にも関連していて難しいそうだなと思いました。けど、全国各地から来る人が多いときいて楽しそうだなと思いました。

【講座番号7 理学】

・理学だからといって理科科目を切り離して考えるのはおかしいという話に感動しました。生物の所にも物理や化学がつながっていて色々つながっているのだなと感じました。

・理学→考えること、工学→応用すること、というのを初めて知りました。世界のことや日本のことを知ることの必要性も教えてもらいました。

【講座番号8 工学】

・工学の中にも様々な分野があって、自分に合ったところに行けるように今から準備しておきたいと思いました。

・知識量の多さに驚きました。受動的にならずにどんどんインターネットを活用してやりたいことを見つけていこうと思います。

【講座番号9 医療・薬学】

・医療技術でも目指す職種によって必要な理科の科目が変わることが分かりました。

・基礎をきちんと固めておくことが将来にすごく生きてくることが分かった。理学療法は物理，化学，生物すべてが大切であることが分かった。

・一つ受からないと他の実習なども受けられないことがあったりするので、今からコツコツやる習慣を身につけたいです。

【講座番号10 看護・養護教諭】

・資格があると、有利な点があるので資格を取るのも大切だと思いました。

・看護は病院だけでなく、地域の医療関係の施設企業に就職できることを初めて知りました。それに対し、養護教諭は学校に一人しかいない狭き門だとわかりました。

・看護大学は一般教養が1～2年の間に終わり、そこから実習ばかりやることが分かった。実習はかなり大変なようでした。

【講座番号11 農学・生物】

・生物分野だったりしても物理が必要だったりその他の学習も必要になることが分かりました。

・農学は広い就職先があるのと、2年生から専門性を学べるということがわかりました。

・やりことじゃないと続かない。捨てる科目を作ることで自分の進路を狭くするのはよくない。

【講座番号12 情報】

・同じ学部でも文系と理系に分かれていることがわかり、色々ためになった。

・情報が文理のミックスということで新しいことやいろいろなことが学べることはとてもいいと思いました。今のうちに基礎固めをやりたいと思いました。